

# 所沢税務署管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞

## 税と私たち

向原中学校 三年 中村 晃

私は、税に良い印象を持っていなかった。興味も無かった。税と直接関わっていることが少なかったからだ。けれど、私たちの暮らしと税に、どのような関係があるのか調べてみて、初めて税の役割を知った。

まず、税金の種類が約五十種類もあることに驚いた。そして、税は国税と地方税に分けられており、所得税や消費税など、僕も知っている税があれば、贈与税や不動産取得税など、あまり聞いたことがない税もあった。さらに驚いたのは、酒税とたばこ税もあることだった。これらの税で集められたお金は何に使われているのか。調べてみたら、病気やけがで病院にいったときの医療費や、お年寄りの年金などに使われていた。以前に、私がけがをして病院にいったときも、私たちが使っている教科書も、全部税金が使われていた。良いイメージを持っていなかったが、税金はありがたい物だと私は思った。他にも、税の負担を調整することで、景気の動向をゆるやかにする働きもあり、工夫されていることがわかった。

私が、税について特に気になったのは、累進課税制度だ。これは、所得が多くなるほど税負担が増えて、富の格差を縮める働きがあるらしい。貧富の差が縮まるのはいいが、所得の多い人は年収の四十五パーセントの税金を負担しなくてはいけない。がんばって働いた

お金の、約半分も負担しないといけないのは、かなりつらいと私は思う。これでは、多くの働いている人の、労働意欲がなくなってしまっただろう。

でも、もし税金が無かったらどうなるのだろうか。私が小学生のころ、私の家の隣で火事があった。幸い、ケガ人などはいなかった。これは、消防士がすぐに来て、火を消してくれたからだと思っている。けれど、もし税金が無かったら、火事があっても駆けつけてくれない。同じように、事故があっても警察は来てくれない。このように、税金は住民の安全を守ってくれているのだ。SNSで、「税金が高すぎる」と文句を言っている人がいるが、税金は国民のためのものだから、しょうがないと思う。

税について調べてみて、税の役割や、必要性、私たちの生活とどのように関わっているのか知った。公共のためだけでなく、警察や消防の仕事にも使われていて、国民の生活を豊かにする工夫もされていた。これからも、税についてもっと理解し、たくさんの人と協力して、よりよい世の中になるようにしていきたい。